

## 自己の可変性信念尺度の開発の検討

笠原千秋<sup>1</sup>・平野真理<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>東京家政大学大学院人間生活総合研究科臨床心理学専攻)

### 目的

「自己の可変性信念」とは、「自らの人間性が変化するか否か」についての信念であり、類似概念には知能の可変性についての信念である「知能観」がある。Dweck (2006) によれば、「知能は変化しない」という信念を持つほど抑うつが増大するという。したがって、自己の可変性信念の場合もこの信念が低い場合に精神的健康に悪影響を及ぼす可能性があると考えられる。この信念を測定する「自己の可変性信念尺度」については笠原ら(2017)において 142 名に調査を行い尺度の作成を試みたが、対象人数の不足や尺度の構成概念としての不足等があったため、さらに対象人数を増やす等して検討する必要がある。

そこで、本研究では改めて自己の可変性信念を測定する尺度を検討することとする。その上で、精神的健康との関連、加えてパーソナリティとの関連を検討することを目的とした。

### 方法

- 実施時期 2017 年 7 月
- 対象者と手続き 都内 A 私立高校の高校 1 年の生徒 279 名に対し、質問紙を配布し調査を行った。
- 質問紙 [1]レジリエンス：二次元レジリエンス要因尺度 (Bidimensional Resilience Scale: BRS) (平野, 2010) 21 項目 5 件法。[2]自尊感情:10 項目 4 件法[3]自己効力感:10 項目 4 件法[4]:抑うつ:18 項目 3 件法[5]BiG5: 日本語版 Ten Item Personality Inventory (TIPI-J) (Gosling, Rentfrow, & Swann, 2003 ; 小塩ら, 2012) より、外向性, 協調性, 勤勉性, 神経症傾向, 開放性の 5 因子からなる 10 項目 7 件法。[6]自己の可変性信念:Dweck (2006) 及び及川 (2005) の知能観に関する尺度を参考に、「知能」という文言を「性格」に置き換える等して 8 項目 (5 件法) を設定した (表)。[7]人生満足度:Students' Life Satisfaction Scale (SLSS) 日本語版 (Hoebner, 1991; 吉武, 2010) 7 項目 6 件法。

### 結果

表1. 自己の可変性信念尺度の因子分析結果

	因子名	項目内容	I	II
固定因子 ( $\alpha = .712$ )		7. 私は基本的に自分の人間性というものは変えられないと思う	.770	-.128
		4. 私がどのような人間かはすでに決まっており、それを根本的に変える方法はあまりないと思う	.727	.027
		6. 私は一定の能力をもって生まれてきており、それを変えることはできないと思う	.631	.136
		2. 私という人間の生涯は決まったものだと思う	.619	.016
		8. 私は自分の人生を自分でつくりていくことは可能だと思う	-.123	.797
		5. 私は自分の運命を自分で変えられると思う	.031	.705
可変因子 ( $\alpha = .783$ )		3. 私は能力は努力次第で伸ばすことができると思う	.165	.513

1. 自己の可変性信念尺度 因子分析 (主因子法, プロマックス回転) の結果, 因子負荷量の少ない 1 項目を削除し 2 因子構造が見出された (表 1)。第 1 因子を「固定」因子, 第 2 因子を「可変」因子と命名した。因子間相関は ( $r = -.360, p < .010$ ) であった。

2. 精神的健康・パーソナリティとの関連 精神的健康の指標としての尺度及びパーソナリティとの関連を検討したところ (表 2) の結果が得られた。

### 考察

自己の可変性信念と精神的健康及びパーソナリティとの相関は有意ではあるが弱く, したがって両者に直接的な影響をもたらすのではないと示された。自己の可変性尺度のうち, 可変因子と精神的健康及びパーソナリティとの間には複数の強い関連が見られた。一方, 固定因子は抑うつ, 人生満足度, 外向性以外との強い関連がみられなかった。ここから, 本尺度と精神的健康及びパーソナリティとの関連を考える際, 「自己とは可変的なものである」という信念と, 「自己とは固定的なものである」という信念とは区別して考える必要があるといえる。加えて, 特に後者の信念を持つ場合であっても, 必ずしもそれらにネガティブな影響をもたらさないという可能性が推察された。今後, サンプルを増やしてのモデル検討や自由記述等による質的研究が望まれる。

表2. 相関分析結果

	精神的健康					パーソナリティ				
	レジリエンス	自尊感情	自己効力感	抑うつ	人生満足度	外向性	協調性	勤勉性	神経症傾向	開放性
固定因子	-.102	-.150*	-.051	.295**	-.182**	-.215**	-.068	-.039	.056	-.090
可変因子	.461**	.253**	.376**	-.334**	.303**	.286**	.194**	.047	-.142*	.297**

\*\* $p < .010$  \* $p < .050$